

25	生活文化スポーツ局	東京文化戦略2030の実現に向けた事業
事業概要	東京2020大会のレガシー等を踏まえた新たな文化戦略に基づく施策を展開するとともに、アートカウンシル等による文化の創造・発信を推進する。	
これまでの経過	<p>【東京文化戦略2030の策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京2020大会が終了し、新型コロナウイルス感染症の影響、持続・共生社会へのシフト、デジタル化の進展など、社会環境が大きく変化しているタイミングを捉え、令和4年3月、東京文化戦略2030を策定・公表（計画期間：2022年度から2030年度まで）。 策定にあたっては、東京芸術文化評議会で議論するとともに、『『未来の東京』戦略』とも連動 	
現在の進行状況	<p>【東京文化戦略2030の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 芸術文化による共生社会のための国際カンファレンス(仮称) 令和4年6月及び7月に、芸術文化による共生社会実現に向けて「だれもが文化でつながる国際会議：Creative Well-being Tokyo 2022」を開催 アートウィーク東京 令和4年5月に事業概要、7月にバスルートの決定、9月に専用アプリの公開について、それぞれプレスリリースを実施。また、都のSNS等を活用して、広報を展開 芸術文化魅力創出助成 令和4年5月に公募を開始、7月に127件の申請の中から41件を採択、令和4年8月には第2期の募集を実施 デジタルアートデザインラボ(仮称) デジタルテクノロジーの活用を通じて、人々の創造性を社会に発揮する(シビック・クリエイティブ)ための活動拠点(シビック・クリエイティブ・ベース東京(旧名称：デジタルアートデザインラボ(仮称)))の令和4年10月の開設に向けた準備 他自治体等との連携事業 戦略を着実に実施していくための体制として、各区市町村の情報共有の場である「東京都区市町村文化行政ネットワーク会議」(令和4年11月)の開催に向けて準備 TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト 長期休館中の博物館における新たな鑑賞体験を提供するアプリのリリースや、デジタル化した収蔵品の公開を推進 	
今後の見通し	<p>東京都歴史文化財団及び東京都交響楽団との戦略的かつ効果的な政策連携を実現するとともに、教育・福祉・観光分野など多様な主体との連携も強化し、アーティストの成長、アートシーンの拡大、躍動と豊かさが両立した社会を目指して、文化戦略事業を推進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 芸術文化による共生社会のための国際カンファレンス(仮称) 芸術文化による共生社会実現に向け、国際カンファレンスを隔年で開催予定 アートウィーク東京 都のSNS等を活用して広報を展開していく。また、次年度の実施について、実績を踏まえて検討していく。 芸術文化魅力創出助成 令和4年11月に第2期の助成事業の採択を予定している。次年度の実施について、実績を踏まえて検討していく。 	

<p>今後の見通し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルアートデザインラボ(仮称) シビック・クリエイティブ・ベース東京(旧名称: デジタルアートデザインラボ(仮称)) <p>令和4年10月の開設後、ワークショップなどの様々なプログラムを実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト <p>都立文化施設の情報通信基盤整備や、デジタル化した収蔵品の公開を引続き推進</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>生活文化スポーツ局文化振興部企画調整課</p>	<p>電話</p>	<p>03-5388-3151</p>